

令和 6 年 4 月付け通知から、一般選抜の募集人員には変更ありません。

基礎工学部学校推薦型選抜における入学者選抜方法等の変更について

令和 7 年 7 月
大阪大学

令和 6 年 4 月付通知「令和 8 年度からの基礎工学部における入学者選抜方法の変更について」を次のとおり変更します。

なお、出願にあたっては、令和 8 年度大阪大学総合型選抜・学校推薦型選抜学生募集要項を必ず確認してください。

記

【変更内容】

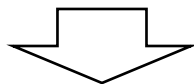
出願要件及び選抜方法を次のとおり変更する。

○変更前

(2) 学校推薦型選抜

②出願要件及び選抜方法の変更点は、次のとおりです。

- ・ 女性枠への出願要件は、戸籍上の性別が「女性」である者としします。また、この出願要件を満たす者からの出願は、一般枠と女性枠の両方に出願したものとします。
- ・ 推薦人員枠は、1 校で基礎工学部 1 学科につき 6 名以内とし、男女は各 4 名まで推薦できます。但し、男女いずれかのみが在学する学校においては、推薦人員枠は 4 名以内とします。
- ・ 第 1 次選考の合格者判定は、一般枠、女性枠に区分せず行います。
- ・ 第 2 次選考の合格者判定は、最初に女性枠、次に一般枠の順に行います。女性枠で不合格となった者も、一般枠の合格者判定の対象となります。
- ・ 第 2 次選考の結果、総合成績が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。



○変更後

(2) 学校推薦型選抜

②出願要件及び選抜方法の変更点は、次のとおりです。

- ・ 戸籍上の性別が「女性」である者は、女性枠と一般枠を併願できます。また、どちらか一方のみでの出願も可能です。
- ・ 推薦人員枠は、1校で基礎工学部1学科につき6名以内とし、男女は各4名まで推薦できます。但し、男女いずれかのみが在学する学校においては、推薦人員枠は4名以内とします。
- ・ 第1次選考の合格者判定は、一般枠、女性枠に区分せず行います。
- ・ 第2次選考の合格者判定は、最初に女性枠、次に一般枠の順に行います。女性枠と一般枠を併願した者が女性枠で不合格となった場合は、一般枠の合格者判定の対象になります。
- ・ 第2次選考の結果、総合成績が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。

令和8年度からの基礎工学部における入学者選抜方法の変更について

令和6年4月
大 阪 大 学

令和8年度入試から、基礎工学部では、一般選抜の募集人員変更、学校推薦型選抜における女性枠の新設と募集人員・出願要件・選抜方法の変更を行います。

(基礎工学部では、令和7年度から入学定員を増員する予定で、下記の表はその内容を含みます(設置認可申請中)。詳細は、別途お知らせをご覧ください。)

1. 令和8年度入試からの変更点

(1) 一般選抜

募集人員を次のとおり変更します。

	令和6年度 入試まで	令和7年度 入試	令和8年度 入試から
電子物理科学科	90名	94名	90名
化学応用科学科	75名	75名	71名
システム科学科	151名	156名	148名
情報科学科	74名	92名	88名

(2) 学校推薦型選抜

①募集区分を一般枠と女性枠とし、募集人員を次のとおり変更します。

	令和6年度 入試まで	令和7年度 入試	令和8年度入試から		
			一般枠	女性枠	計
電子物理科学科	9名	9名	9名	4名	13名
化学応用科学科	9名	9名	9名	4名	13名
システム科学科	18名	18名	18名	8名	26名
情報科学科	9名	9名	9名	4名	13名

②出願要件及び選抜方法の変更点は、次のとおりです。

- ・女性枠への出願要件は、戸籍上の性別が「女性」である者とし、また、この出願要件を満たす者からの出願は、一般枠と女性枠の両方に出願したものとします。
- ・推薦人員枠は、1校で基礎工学部1学科につき6名以内とし、男女は各4名まで推薦できます。但し、男女いずれかのみが在学する学校においては、推薦人員枠は4名以内とします。
- ・第1次選考の合格者判定は、一般枠、女性枠に区分せず行います。
- ・第2次選考の合格者判定は、最初に女性枠、次に一般枠の順に行います。女性枠で不合格となった者も、一般枠の合格者判定の対象となります。
- ・第2次選考の結果、総合成績が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。